

環境配慮の保冷剤製品化

三重化学工業 兼業人材からアイデア募る

保冷剤や業務用手袋などを製造する三重化学工業（本社松阪市大口町262の1、山川大輔社長、電話0598・51・2361）は、兼業人材のアイデアから環境配慮の素材を使用した保冷剤を製品化した。SDGs（持続可能な開発目標）に取り組む企業などに提案する。同社が2020年7月に立ち上げた多様な人材と連携するオープンイノベーション「ミエラボ」の開発製品第1号。同社では「今後、よりグレードアップした製品の開発を目指す」と、環境に優しい製品開発を加速する考えだ。（三重・片桐芳樹）

「ミエラボ」の開発第1号

「ミエラボ」は、「枠にとらわれず、新たな発見を見つけるコ・クリエーションの場」（同社）として立ち上げた。女性の体の悩みを最新技術で解決するフェムテックをテーマにした新製品開発や、SNS（会員制交流サイト）の活用などに取り組んでいる。

今回製品化した環境配慮の保冷剤は「SNOWPACK ECO ECO」（スノーパック エコ）。サトウキビ由来のバイオマスポリエチレンとナイロンを組み合わせ

たフィルムを使い、バイオマス素材の配合比率は約46%。従来製品と比べて1個あたり2・6gの二酸化炭素排出量を削減できる。製品化にあたり、中部経済産業局の地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業「ふるさと兼業」を活用した。SDGsをテーマに新製品アイデアを募ったところ、3人から企画が寄せられた。うち「地球に還る保冷剤」のテーマからヒントを得た。20年11月にプロジェクトをスタート



兼業人材のアイデアをもとに製品化した「スノーパック エコ」



●三重支社
津市栄町4の255
津栄町三交ビル 3階
電話 059(228)2545
FAX 059(271)6311

●四日市支局
四日市市中浜田町4の16
ロイヤルマンションHAMADA 208号
電話 059(354)6116
FAX 059(329)5333

し、保冷剤に適した素材を探すことから始めた。発売は1月下旬。サイズは75mm×105mmで、1ケース240個入り。通常の保冷剤と比べて割高にはなるが、同社担当者は「環境意識の高い企業への採用を目指す。サイズのバリエーションも増やしたい」と意気込んでいる。

チョコで青

伊達丸亀茶名製

【四日市】亀山市内でお茶を生産する伊達丸亀製茶（本社亀山市辺法寺町、伊達丸亀代表）は、世界的パティシエの青木定治氏とコラボレーションし、青木氏考案の新作チョコレート「ボンボン テ カメヤマ」を発売する。シエリアル名古屋タカシマヤ限定商品で、20日から同百貨店で開かれるバレンタイン催事で販売する。

洋菓子店「パティスリー・サダハル・アオキ・パリ」のオリジナル商品。6粒入りで税込み3240円。伊達丸亀製茶の煎茶「おおき」に「や紅茶」べにほまれ」など6種類の茶葉を使用した。茶葉と生クリームなどで作った濃厚なガナッシュ

は、底の... 浦... 殖... れ、... 出... も... 業... 悟... 殻... を...